

交通ターミナルの整備状況は



石内 國雄



町長

3月に完成し、待合所等も整備済み



使用開始が待たれる交通ターミナル

質問 文化センター周辺地区に新たに整備する交通ターミナル及びそこに乗り入れるための乗合タクシー「たまりん再編」の現状は。また、公共交通の整備には、デマンド交通の導入など、あらゆる角度からの検討が必要だと思ふが。

答弁 町長 交通ターミナルは、3月に完成し、トイレ・待合所等も整備した。BRT整備の凍結に伴い、見直しが必要なたまりんは、新たな再編案を取りまとめ、10月を目途に

地域公共交通会議で了承を得て、来年4月から再編後の運行を目指す考えである。

デマンド交通の導入については、たまりんを運行している永井運輸はこれを担う意向がなく、当町のタクシー事業者には運行するための資格がないことから、現状での導入は困難と考えている。

新型コロナウイルスに関する情報提供は

質問 新型コロナウイルスに関する情報提供では、町民に安心してもらうため、的確かつ定期的な情報、町の現状認識・経過情報が必要と考えるが。

答弁 町長 町民の皆様には、町ホームページ・メルタマ等、多様な発信手段を用い情報提供している。

災害対策の進捗は

質問 今年度予算で重点配分されている防災対策事業の

進捗状況は。また、新型コロナウイルスを踏まえた対応は。

答弁 町長 水防センターに資機材の配備を図っている。台風19号で浸水被害のあった五料の矢川流末付近の水路開渠部分に大型土のうを設置する工事を6月中に実施する。当該地及び上福島地区内の浸水地点を監視するためのライブカメラ設置等の準備も進めている。

また、新型コロナウイルス感染症予防に配慮した避難所運営を考えている。

ハザードマップは完成したのか

質問 出水期となるが、内水氾濫ハザードマップは完成したか。

答弁 町長 過去の浸水、冠水の地図アプリでも見られるよう作業しており、6月中には閲覧可能となる予定である。

小規模企業振興条例の制定を求む



宇津木 治宣



町長

制定の方向で研究していく

質問 新型コロナウイルスが地域経済に与える影響は計り知れない。中小企業への支援が必要では。

答弁 町長 町は「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策資金」及び「小規模事業者緊急支援助成金」等の施策で支援している。

質問 小規模企業振興条例は県内19市町村で制定されている。本町においても制定すべきだ。

答弁 町長 商工会や金融機関等と情報連携を図り、制定の方向で研究していく。

生活困窮者自立支援制度の活用を

質問 国は、新型コロナウイルスに関連した「生活困窮者自立支援制度」を活用した対応を自治体に求めている。当町の対応は。

答弁 町長 生活困窮者自立支援法に基づく「自立相談

支援機関」や「住居確保給付金」については、町社会福祉協議会が相談窓口となっており、貸付等の相談が、5月末時点で1日に7件ほど寄せられていると聞いている。

現在ある各種経済的支援制度を活用しても難しい場合には、生活保護の申請となると思うが、その際は役場が窓口となるため、相談を引き継ぐなど連携して支援に努めている。

質問 ひとり親家庭及び生活困窮者世帯に対する学習支援の対応は。

答弁 町長 ひとり親の小学生児童を対象に「玉村町ひとり親家庭無料学習支援事業」を平成28年度から実施しており、今年度も10名の児童の申し込みがあった。

新型コロナウイルス風評被害の払拭を

質問 福祉・介護事業所の利用者や訪問事業者等に対する

風評被害が広がっている。正確な情報開示で風評被害の払拭を。

答弁 町長 感染者の正確な情報が提供できるよう県と協議したが、報道される以上の情報提供はできなかった。

そこで、県と町の情報の共有などを明記した要望書を県に提出し、県と情報共有の覚書を交わした。

町でも感染拡大防止につながる情報を早期発信していくので、皆様には、噂やデマに惑わされることのないようお願いしたい。



児童生徒に配布 たまたん除菌スプレー